

## 令和5年度（2023年度）二学期始業式講話

おはようございます。二学期を迎えました。皆さん元気に夏休みを過ごしましたか。

今年の夏は昨年よりも厳しい暑さでしたね。ESD 学習に取り組んでいる皆さんはすでに「地球の温暖化」という言葉を知っていますね。ニュースでは、この「地球の温暖化」という言葉が「地球の沸騰化」に変わったと報じられていました。

改めて、SDGS でいう13「気候変動に具体的な対策を」の目標にむけて、自分事として行動していかなければなりません。

長い二学期、先生、友だちと一緒に考え行動していきましょう。

さて、今日は、夏休みに行われた水泳の世界選手権で活躍した池江璃花子選手の復活への道のりをお話します。

2016年のリオ・オリンピックで大活躍した池江選手は、2019年のアジア大会では自由形やバタフライなどで6つの金メダルを獲得しました。また、日本新記録を17回も出しているマルチスイマーでした。

2020年の東京オリンピックで金メダルを獲得することを誰もが期待していました。

スーパースイマーとしての成長の階段を昇りつめている東京オリンピックの1年前のことです。池江選手は白血病という重い病気に罹りました。治療が困難な病気です。そのときの池江選手の思いは、「思っていた未来が、一夜にして別世界のように変わる。それはとてもきつい経験でした。」

池江選手の言葉です。「逆境から這い上がっていくときにどうしても、希望の力が必要だと思えます。」

池江選手が言う希望の光とは、2024パリオリンピックで活躍するという目標だったのです。「病気になったからこそ分かること、考えさせられること、学んだことがたくさんありました。努力は必ずしもむくわれるものではない。だけど、その努力がむくわれるまで努力し続ける。」池江選手が考えたこと、学んだことです。

池江選手の復活を支えたのは、共感できる、共有できるという安心感でした。

池江選手が白血病で出場できなかった2019世界水泳選手権の女子100mのバタフライの表彰式の時のことでした。池江選手のライバルのスウェーデンのサラ選手たちメダリストが、手のひらに書いた文字をテレビカメラに向けました。最初は Rikako と記されていました。次の人の手のひらには、NEVER GIVE UP と書かれ、三番目の人は Ikee という文字を差し出しました。日本人選手からもたくさんのメッセージが届いていました。

「つらくとも笑えるりかこが好きだけど、つらくなって泣いているりかこも大好きだからいつでも頼ってください。そしてまた一緒に 大笑いしよう！」

池江選手は10ヶ月入院して病気と闘いました。その中で、同じ病気の友達がたくさんできました。後に池江選手は、「自分一人じゃないんだ、この辛さを共有してくれる人がいる、物事をプラス思考で考えられるようになりました。」「東京オリンピックで金メダルという、夢が破れても 支えてもらったから…。」と、語っています。

「支えてもらったから……。」の後の言葉を皆さんもクラスで考えてみてください。

池江選手は、共に生きることとはどんなことなのかを悟ったのでしょね。

そんな池江選手でしたが、7月29日の午前中に行われた50m自由形では予選敗退でした。今の自分の実力を知り、レースに行くのが嫌だと思っ自分が出た、と語っています。

同じ日の午後の競技でした。池江選手が最も得意な50mバタフライの決勝戦後の言葉です。いつまで苦しむのだろうという言葉は弱音のように思われがちですが、池江選手の行動はプラス思考に変わっていました。

池江選手は、楽しみながら、という言葉がよく使うようになりました。今の自分を理解し、楽しみながら、自分の実力を戻していく大切さに気付きました。

その気づきは、マイナス思考だとタイムも伸びなくなり、周りの人にも悪影響を与えるということでした。復活するためには、どのように行動すればいいのかを考え、明るくのびのびと水泳を楽しむことに集中しました。池江選手は為すことを学んだのです。

池江選手の課題は、スタートでした。バタフライは、スタート直後にドルフィンキックで25mほど息継ぎなしで進みます。池江選手は元気な時から浅く潜り、状態をあまり動かさないことを心掛けていました。しかし、外国の選手に後れる泳ぎでした。

病気をしてから潜る角度を深くし、水中で体が動くことをあまり気にしなくするように心掛けました。すると、以前よりも前に進むスピードが速くなったことに気付きました。

池江選手は、自分が立てた目標に向かって、パリオリンピックでの活躍を目指してバタフライの泳ぎ方をもう一度学び直しています。知ることを学び続けている池江選手です。いま、できることを一つずつ丁寧に積み重ねている池江選手です。

昔の栄光に簡単に戻れないことを知っている池江選手は、後ろを振り向かずに、苦しみや辛さも含めて前に進んでいます。池江選手は4つの学びを意識して行動しているわけではありません。しかし、人が自分の目標に立ち向かうために必要なことは、どんな人に成りたいのかという生き方を学び、友と一緒に、学び方や、取り組むべき行動を学ぶことは大切です。

さあ、皆さん、二学期が始まります。四つの学びを意識しながら自分が決めた目標に向かって努力を続けてください。